



明けましておめでとうございます。「光明学園」として開校して2度目の新年を迎えました。新時代を目前に、平成時代の学びの集大成となる3学期が始まりました。

「新校舎元年」9月に新西棟使用開始見込み！

肢・病併置の特別支援学校として新設計した校舎群の第一陣「新西棟」が7月後半に完成します。瑕疵検査等を経て、正式に本校に管理権限が移されます。(供用開始)そこから新校舎供用準備が以下の順序で本格化します。

- ① 7月後半～8月中：専門業者による移転作業
- ② 同時期：教職員による新校舎内の環境整備作業
同時期：現B・C・S棟撤退と現A棟再利用整備作業
- ③ 9月2日(月)：新校舎等での授業開始

◆新西棟の供用開始後の工程の概要は次の通りです。

- I 現校舎(B・C・S棟)の撤去工事
- II 新北棟(新体育館、プールを含む)建築工事
- III 新北棟完成、移転作業後に供用開始(2022年1月)
- IV 現校舎(A棟・体育館、SB乗降場)閉鎖と撤去工事
- V 新南棟建築工事
- VI 新南棟完成、移転作業後に供用開始(2024年4月)

新校舎元年の今夏から約4年半の間、両部門が数回の校内移転を経る中で、校舎建築の円滑な進行と充実した教育活動を両立させることが本校が担う使命です。

今後の工事状況、完成後の新校舎・現校舎(A棟)の各部門学部の利用形態、移転作業と校内整備の概要等について保護者に御説明する機会を下記のとおり設けました。ぜひ、おいでください。

《 予 告 》 別途、御案内の文書をお届けします。

新西棟の供用開始に向けた説明会(仮称)

日時：2月12日(火) 10:00～10:20

会場：寄宿舎1階食堂

内容：新西棟完成に伴う供用形態や移転作業等

*御欠席の方にも、説明会概要を後日配布いたします。

開校周年記念の諸行事を開催！

新校舎完成を目前に、今年度は開校1周年であること

を記念して、2月26日の開校記念日に向けて2・3学期には、全校規模、あるいは部門・学部ごとに記念の文化的活動(特別学習)を設けています。

9/5(水) **S・B<小>** 開校記念音楽会 by おかわり団

12/1(土) **全校<本校・分教室>** 開校記念KAGA「光美展」

12/19(水) **S・B<中・高>** 開校記念コンサート

by 新日本フィルハーモニー楽団

31年1/10(木) **全 校** 開校記念「書初め大会」

31年1/16(水) **分教室を含む全校** 開校記念「光書展」

学校生活を1年ずつ積み上げていく実感が自ら得られるようにとの意図で、様々な「その道のプロフェッショナル」を招いての特別学習を毎年度設けています。

こうした場では、S・Bの両部門、本校と分教室、通学と訪問の形態を超えて学園一体となる意識をもたせ、愛校心を育てて参ります。2学期終業式では、光美展の入選作品に対する表彰状贈呈も行いました。多くの保護者も駆けつけてくださり、喜びを分かち合ってくださいました。在学中の学習活動を通して、お子さんの個性と技量を伸ばし、その輝く一面を引き出して讃えることで、自分の価値に自信をもち、本学園で学んだことを誇りとして次のステージに進んでほしいとの願いを込めて全教職員で取り組んでいます。全学園生が在学中に必ずや讃えられる機会を得られるように、日々の学習を大切に参ります。今後に御期待ください。

卒業シーズンを前に一証書・呼名・台帳一

3月の卒業・進級のシーズンが目前です。この機会に大事な「進級」や「卒業」に関して解説いたします。

卒業・進級認定 公教育全般については、全て国会を経た法令が定められています。学校教育法施行規則第57条には「小学校において、各学年の課程の修了又は卒業を認めるに当たっては、児童の平素の成績を評価して、これを定めなければならない」と示されています。つまり、出席日数だけで決まる訳ではないということです。授業態度や学ぶ意欲等を含めた平素(＝平日頃)の学習

の活動成果をもとに決めるという考え方なのです。また関連する通達により、(病気等も含めた)長期欠席の児童についても、適切な方法でその成績を評価する事で、卒業認定できるとされています。さらに特別な事情があれば、それも考慮してよいとされています。全課程の修了・進級・卒業認定は校長が行うことも定められています。

そして同規則第58条には「全課程修了者と認められた者に校長は卒業証書を授与しなければならない」と規定されています。これが卒業式の根拠となっています。

卒業・進級認定会議 特別支援学校小学部・中学部・高等部にも上記の法令が適用されます。光明学園においても年度末の時期には、学級の担任が学園生一人一人の出席・遅刻・早退・欠席(及びその理由)を一覧にし、これと日頃の学習状況の成果を合わせて、進級・卒業の認定可否についての所見をまとめます。その後、認定会議にて校長に報告し、校長が最終決定した後、学年修了証や卒業証書等の作成に進みます。

特別支援学校における評価の形 特別支援学校の場合は、小・中・高校の教科書にそった教育内容に基づく数値評価では、学習成果を正しく評価できない児童・生徒が少なくありません。そうした場合には通知表や個別指導計画で家庭にお知らせすると同様、学習状況や学習活動成果を詳しく記した文章表記での評価となります。

卒業証書と賞状の違い 卒業証書は、法令で定められた全課程修了の証明書と言える物です。証書の様式や内容は教育委員会が決めます。証書には対象者を特定するために、氏名と生年月日が明記してありますが、証明書であるため、敬称(～様、～殿、～君、～さん)は付記されません。これは運転免許証等と同様です。お手元に免許証がありましたら御確認ください。敬称を省略したのではなく、あくまで氏名特定のための記載です。一方で感謝状や賞状には全て敬称が付きます。特に讃えるべき行いに対し敬意を込めて謝意等を表すからです。証書と賞状は大きく異なるものです。

卒業(証書授与)式と呼名 卒業証書授与時には、教員等が「呼名」しますが、全課程修了者を確認するために、授与者の校長及びお客様である参列の来賓等に対し、卒業生の「氏名」を読み上げます。この場合、お祝いに駆け付けてくれたお客様に、自分の身内には敬称を付けないと同様、卒業生の呼名は氏名だけを読み上げます。

(決して「呼び捨て」ではありません。丁寧に心を込めて氏名を読み上げます。)このとき、卒業生が自発的に自分なりの方法で返答する姿から、最後の学習に臨む自覚が伝わってきて心に響きます。この後、壇上で卒業証書を校長が文面通りに読み上げ本人に授け(授与)します。大学の学位授与と同等の「サズケル」という形態です。

ちなみに、これが表彰状や賞状では授与(式)ではなく贈呈(式)と変わります。サズケルではなくオオクリするとなり、意味合いが全く異なってきます。授与し終わると思わず参列した方々から、全ての学業を成就した卒業生の努力に対し、拍手が湧き起こることが常です。

卒業証書授与台帳 卒業証書は、前述のように法令で定められた大切な証書です。卒業証明書は申請があれば卒業後も何回でも発行できますが、卒業証書は再発行できない大切な証書です。証書には開校以来の証書番号が入り、上には割印が押されています。この発行に当たっては卒業証書授与台帳(卒業生原簿ともいいます)の該当欄にも割印が押印され、唯一の正本である事を証明しています。この卒業生台帳には、年度別/部門別/学部別に授与日と校長名が記された上で、個々の欄に卒業生氏名、保護者氏名、卒業時住所、証書番号が記され、割印が押されます。この台帳は、永年又は100年保存と定められています。指導要録(学籍記録が卒後20年、指導記録が卒後5年)と比べても長期保存です。これは本人が社会で活躍している間、何時でも卒業証明できるようにするためです。

光明学園では、年間数回の履修状況確認会議を経て、第2回卒業式に向け、今後卒業認定会議を設け、卒業証書授与台帳を整え、卒業証書の作成を進める時期をこれから迎えます。証書は担任が心を込めて押印・割印作業や氏名確認をしています。氏名はプロの筆耕家に依頼して毛筆書きとなっています。また紙筒ではなく、授与時に持ち易く保管しやすいバインダー型を採用しています。

高等部入学相談と公開研究会に御協力を!

◆高等部学力調査・面接日には**S部門高等部生のみ自宅学習**となります。皆様の御協力をお願いいたします。

「S高:1/30(水)」(在校生自宅学習)

「B高:1/31(木)・2/1(金)」(同通常授業)

◆全国公開研究日の**2/8(金)**は両部門全校11:45下校となります。皆様の御協力をお願いいたします。

B：都総合文化祭「5部門作品展」の御案内

都立特別支援学校総合文化祭の5部門作品展（造形美術、手芸・家庭、写真、職業・家庭、放送・映像の5部門合同）が1/23(水)～1/28(月)10:00～17:00、（28日は12:00迄）池袋駅西口徒歩2分の東京芸術劇場5階展示ギャラリーで開催されます。本校B部門は放送・映像部門に創意工夫した映像作品を複数出品しています。ぜひ御覧ください。

S：「ハンドサッカーとは？」～ルールと楽しさ～

★2/16（土）には駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で、恒例の「東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会」が開催されます。本校を含め全19校が出場予定です。今年度前半はボッチャで盛り上がりましたが、ウインターシーズンは多くの肢体校が体育や部活動でハンドサッカーに取り組んでいます。この機会にハンドサッカーのルールや歴史の概要を御説明します。

解説：「ハンドサッカー」ってどんなスポーツ？

ハンドサッカーとは、既存の競技では十分に対応しきれない様々な実態の障害を有する子供達に合わせ、活躍の場を広げ、個々の能力を引き出し、心身を健全に育成するために考え出された競技です。つまり、**障害の比較的重い者と軽い者が協力しあって一緒に活躍できるように工夫したチームスポーツ**です。

ハンドサッカーの成り立ち／肢体不自由の特別支援学校には、様々な実態の児童・生徒が在籍しています。体育の授業では、車椅子バスケットなどのパラリンピック種目を始めとするポピュラーな障害者スポーツや電動車椅子サッカーなどの特定の障害種別による競技は、皆が一緒に行うのは困難でした。そのような理由で陸上競技などの個人種目が多かったのです。しかし、生徒がやりたいのは球技でした。この想いを受け止めた教員が皆で一緒に参加できる競技を試行錯誤しながら創り出したスポーツがハンドサッカーの原型でした。

ルールの工夫①「ポジションの設定」

☆フィールドプレイヤー(F)：4名／コート上を自由に動きまわることができ、比較的機能障害が少ない選手が対象となります。

☆スペシャルシューター(SS)：1名／コート上を自由に動きまわることができ、比較的機能障害が重度の選手が対象となり、スペシャルシューターエリアに入る

ことで、サブゴールへのシュートの権利が得られ、2投の試技で成功することに1点ずつ加算されます。

☆ポイントゲッター(PG)：1名／ポイントゲッターエリアに位置し、他の選手からのパスを受けられると1点が加算され、さらに自らの能力に応じたシュート課題に挑戦する権利を得て、成功すると更に1点が加算されます。

☆ゴールキーパー(GK)：1名／ゴールエリアに入ることのできる唯一のプレイヤーとしてゴールを守ります。

（コート上に出て行くことも可、その際は通常のフィールドプレイヤーと同じ扱いとなります。）

ルールの工夫② 「ボールの保持時間」

各選手には、障害の度合いにより5秒もしくは10秒の持ち時間が決められ、その制限時間内しかボールを保持し続けることはできません。どちらの時間を適用するかは、チームの指導者が決定します。

ルールの工夫③ 「ボールタッチ」

上肢等の麻痺などにより、パスされたボールをキャッチすることが困難な選手は、ボールが身体や車椅子などに触れたことで、ボールを保持したと認められます。

一方、ボールキャッチが可能な選手はボールに触れただけでは保持は認められません。どちらを適用するかはチームの指導者が決定します。

ハンドサッカー大会の歴史 ～東京から各地域に～

平成の初期、ある養護学校（現在の肢体不自由特別支援学校）の先生が研究会で各学校の体育の授業で行っている球技を紹介し合ったことから始まりました。共通性のある内容であったため、交流試合しようということになり、ルールを統一させて実施した試合がその発端です。年を追う毎に取り組む学校が増え、現大会は都内の全体19校が参加するまでに発展しています。また国体に相当する全国障害者スポーツ大会東京大会2013のオープン競技となるなど徐々に全国に広がりつつあります。

第30回 東京都肢体不自由特別支援学校 ハンドサッカー大会

日程 平成31年2月16日(土)

時間 試合開始 9:45～ 閉会式 15:40(予定)

会場 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

交通 東急田園都市線「駒沢大学」駅下車 徒歩20分

駐車 各校の送迎バスが入る為、駐車場は満車となる場合有り。

校長 田村 康二朗